



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 日新商事株式会社

コード番号 7490 URL <http://www.nissin-shoii.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 走尾 一隆

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,619	5.7	26	△30.9	84	△12.2	34	28.3
23年3月期第1四半期	14,775	11.9	38	—	96	204.2	27	422.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △51百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △90百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.18	—
23年3月期第1四半期	4.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	23,011	15,840	68.8	2,354.89
23年3月期	23,691	15,952	67.3	2,371.60

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,840百万円 23年3月期 15,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	4.5	70	△45.3	150	△29.1	70	△0.5	10.41
通期	66,000	3.5	200	△17.1	360	△9.7	170	13.4	25.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	7,600,000 株	23年3月期	7,600,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	873,338 株	23年3月期	873,338 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	6,726,662 株	23年3月期1Q	6,721,838 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害により、一部回復の兆しが見えていた企業活動は大きな打撃を受け、さらには福島原子力発電所などの停止に伴う電力不足が深刻化するなど、非常に厳しい経営環境に見舞われました。また、雇用・所得環境は、引き続き厳しい状況にあったうえ、個人消費においては、震災により冷え込んだ消費者マインドは改善傾向にあるものの、依然低水準にとどまっています。

石油製品販売業界においても、震災の影響により個人消費が低迷したことや、被災地製造業を中心に、工場稼働率が落ち込んでいる業界も多く、石油製品需要は減少いたしました。

一方、石油製品価格については、前期から続いている円高傾向は継続しているものの、それ以上に原油価格が高騰しているため、石油製品価格が大幅に上昇いたしました。

このような状況下、石油製品価格が前年同期と比較して大幅に上昇したことなどにより、当第1四半期の当社グループ連結売上高は15,619,638千円、前年同期比5.7%の増収、営業利益は26,628千円、前年同期比30.9%の減益、経常利益は84,916千円、前年同期比12.2%の減益となりました。四半期純利益につきましては、34,850千円、前年同期比28.3%の増益となりました。

セグメント別及び部門別の業績は次のとおりです。

<石油関連事業>

(直営部門)

直営部門につきましては、高付加価値商品であるコーティング洗車や車検に注力いたしました。また老朽化した設備を改良し、顧客満足度の高いサービスルームを併設するなど、さまざまな施策を打ちましたが、震災の影響もあり、販売数量が減少いたしました。しかしながら、石油製品価格が前年同期と比較して上昇したことなどもあり、売上高は5,299,092千円、前年同期比1.0%の増収となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、新規販売店獲得や販売店ニーズに応えるような提案セールスを強化するため、営業スタッフの研修を実施いたしました。石油製品価格は前年同期と比較して上昇しましたが、震災の影響もあり、販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は3,334,225千円、前年同期比1.9%の減収となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、新規顧客獲得のための研修会を実施するなど営業活動の強化を図りました。これらにより軽油、潤滑油の販売数量が増加したことや石油製品価格が前年同期と比較し上昇したこともあり、売上高は5,154,726千円、前年同期比23.7%の増収となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、主力の石油化学製品仕入先が震災の影響を受け、顧客に商品を充分には供給できなかったことや、ペットボトル飲料の商流が変更になるなど、厳しい状況となりました。その結果、売上高は1,035,718千円、前年同期比13.6%の減収となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガスについては、仕入価格上昇に即応した販売活動を展開いたしました。その結果、石油製品価格が前年同期と比較して上昇したことなどもあり、売上高は491,742千円、前年同期比8.9%の増収となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店、タリーズコーヒー店ともに、震災による消費者マインドの低迷などにより、非常に厳しい収益状況となりました。その結果、売上高は170,830千円、前年同期比8.4%の減収となりました。なお、収益的に厳しかった、タリーズコーヒー店1店舗を4月末日をもって閉鎖いたしました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、前年度に購入した物件の賃貸料が寄与したことや、建て替え中であった物件が本格稼働したことなどもあり、売上高は133,303千円、前年同期比6.0%の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、679,319千円減少し、23,011,974千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が373,952千円、有形固定資産が59,590千円減少し、投資有価証券及び関係会社株式が152,197千円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ、566,935千円減少し、7,171,420千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が61,919千円、未払法人税が69,504千円、賞与引当金が94,017千円減少し、社債が340,000千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ112,384千円減少し、15,840,553千円となりました。これはおもにその他有価証券評価差額金が90,358千円減少したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ16.71円減少し、2,354.89円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更いたしません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456,845	1,433,361
受取手形及び売掛金	8,411,013	8,037,061
商品及び製品	573,269	523,141
その他	259,019	197,239
貸倒引当金	△30,778	△24,817
流動資産合計	10,669,369	10,165,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,973,072	2,928,992
土地	5,428,870	5,428,870
その他（純額）	281,803	266,292
有形固定資産合計	8,683,746	8,624,155
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,369,982	2,251,474
関係会社株式	997,141	963,453
その他	875,628	903,757
貸倒引当金	△67,499	△66,859
投資その他の資産合計	4,175,253	4,051,825
固定資産合計	13,021,924	12,845,987
資産合計	23,691,293	23,011,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,340,241	2,278,321
短期借入金	665,000	665,000
未払金	548,372	523,790
未払法人税等	84,353	14,849
賞与引当金	206,510	112,492
役員賞与引当金	14,948	4,130
その他	606,869	394,021
流動負債合計	4,466,293	3,992,605
固定負債		
社債	1,206,000	1,166,000
長期借入金	120,000	80,000
退職給付引当金	986,756	986,003
役員退職慰労引当金	61,534	49,226
資産除去債務	66,449	66,759
その他	831,321	830,826
固定負債合計	3,272,061	3,178,815
負債合計	7,738,355	7,171,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,332,354	9,306,665
自己株式	△643,318	△643,318
株主資本合計	15,594,661	15,568,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367,817	277,459
為替換算調整勘定	△9,540	△5,877
その他の包括利益累計額合計	358,276	271,582
純資産合計	15,952,937	15,840,553
負債純資産合計	23,691,293	23,011,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	14,775,601	15,619,638
売上原価	13,246,947	14,105,973
売上総利益	1,528,654	1,513,665
販売費及び一般管理費	1,490,096	1,487,036
営業利益	38,557	26,628
営業外収益		
受取利息	608	556
受取配当金	43,726	42,454
仕入割引	6,907	6,209
持分法による投資利益	2,443	2,329
軽油引取税納税報奨金	9,994	10,451
その他	14,223	19,624
営業外収益合計	77,903	81,625
営業外費用		
支払利息	9,867	9,588
社債発行費	4,517	—
社葬費用	—	9,850
その他	5,324	3,899
営業外費用合計	19,709	23,337
経常利益	96,751	84,916
特別損失		
固定資産売却損	58	—
固定資産除却損	1,427	276
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,283	—
ゴルフ会員権評価損	—	6,666
その他	988	—
特別損失合計	41,758	6,942
税金等調整前四半期純利益	54,992	77,973
法人税、住民税及び事業税	12,502	12,867
法人税等調整額	15,318	30,255
法人税等合計	27,821	43,123
少数株主損益調整前四半期純利益	27,171	34,850
四半期純利益	27,171	34,850

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,171	34,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126,010	△90,097
為替換算調整勘定	8,198	3,663
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△260
その他の包括利益合計	△117,812	△86,694
四半期包括利益	△90,640	△51,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,640	△51,844
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,463,434	186,416	125,750	14,775,601	—	14,775,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,622	15,622	△15,622	—
計	14,463,434	186,416	141,373	14,791,223	△15,622	14,775,601
セグメント利益又は損失(△)	72,245	△11,445	81,378	142,177	△103,620	38,557

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,620千円には、セグメント間取引△15,622千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,988千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,315,505	170,830	133,303	15,619,638	—	15,619,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,862	15,862	△15,862	—
計	15,315,505	170,830	149,166	15,635,501	△15,862	15,619,638
セグメント利益又は損失(△)	68,494	△13,664	76,948	131,779	△105,150	26,628

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,150千円には、セグメント間取引△15,862千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,287千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。